

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 21 日作成)

| | | | |
|------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名 | 教育施設小委員会 | | 主 査 名：倉斗綾子 就任年月：2014 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 建築計画委員会 (施設計画運営委員会) | | 委員長名：大原 一興 主 査 名：筧 淳夫 |
| 設 置 期 間 | 2014 年 4 月 ～ 2016 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | 2014 年度： ・戦後学校建築計画史（継続中）の編集作業を終える。 ・研究討議の催し物（博士取得論文の公開発表会、若手研究者発表会等）、見学会等を開催する。 ・シンポジウム等のテーマ検討、研究を行う。必要に応じて公開研究会・ラウンドテーブル等を実施する。 ・ウェブサイトを用いた情報発信を準備する。 2015 年度： ・研究討議の催し物（博士取得論文の公開発表会、若手研究者発表会等）、見学会等を開催する。 ・シンポジウム・研究会を開催する。 ・ウェブサイトを用いた情報発信を開始する。 | | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：有 委員：梅 林（広島国際大学）、伊藤景子（東京大学大学院）他 | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 戦後学校建築計画史WG：戦後学校建築計画史のオーラルヒストリーをまとめた書籍の編集・出版を行う。 | | |
| 2015 年度予算 | 135,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： | |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|--|
| 委員会開催数 | 3 回（年度内計画を含む） |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | 1. 公開研究会「教育と公共施設再編の観点からみた学校統廃合の歴史・現状・可能性」（公共施設マネジメント小委員会と共催、参加者数 57 名） 2. 公開研究会「教職員、児童・生徒の教育活動からみた学校建築計画- 校舎改修、空間の改変にみる現場のニーズ- 」 参加者数 54 名 |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パ ブリックコメント等 | |

| | |
|---|---|
| <p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> | <p>1. 委員会開催回数は最小限にとどめたが、開催時には計画に沿って内容の濃い議論や情報交換ができた。</p> <p>2. 公開研究会では、公共施設マネジメント小委員会との共同開催や建築以外の分野からパネラーを招くなど有意義な企画を立案実施出来た。会員外からも多くの方々が参加下さり、本委員会の役割を改めて再認識する事が出来た。</p> <p>3. 計画的に施設視察の準備を行い、木造新築小学校の施設視察を実施した。</p> |
| <p>委員会活動の問題点・課題</p> | <p>1. 国内外の教育施設を対象とする小委員会であるため、全国から委員を集める必要があると考えるが、委員会予算では委員招集のための交通費が賄えず、大きな交通費負担をお掛けすることになってしまう。</p> <p>2. 年々、防犯上、個人情報などの観点から、施設の現地視察を公開型で開催するのは難しくなっている。</p> |

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。